

【エコアクション21】

環境経営レポート

2023 年度

(対象期間: 2022 年11月1日～ 2023 年10月1日)



項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～11
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

□ごあいさつ

当社は創業以来、「お客様によりこんでいただける仕事を通して社員の幸福と企業の発展を追及し、地域社会に貢献できる企業をめざす」ことを経営理念とし、社員一人ひとりが常に「創意、誠意、熱意」をもって仕事に取り組むことを基本にして参りました。

近年の時代の変化と共により高度なニーズに対応すべく、日々たゆまない研究と開発に努めておりますが、世の中の変化は益々加速し、価値観の変化あるいは多様化は一層の拡大を見せております。

時代は高度情報化社会へと突入し、留まることを知らない技術革新を続ける一方で、20世紀型の大量生産・大量消費・大量廃棄から循環型への転換は遅々として進まず、地球の温暖化や資源の枯渇など、自然環境に多大な負荷を与え、このままでは人類の生存そのものが脅かされる可能性さえ出てきています。

当社は環境経営システム【エコアクション21】を構築し、われわれの事業活動が人と環境との調和、人と社会との発展に少しでも寄与出来るよう取り組んでまいります。

株式会社 谷電気

代表取締役 谷 政智

環境経営方針

<環境経営理念>

人と環境との調和、人と社会との発展に寄与できるよう従業員一丸となって環境経営システムの継続的な改善に取り組み、当社の事業活動を通じ社会に貢献することを目指します。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- ※ 2 . 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ※ 3 . 廃棄物分別の推進で排出量の削減、リサイクル率の向上に努めます。
- 4 . 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5 . 環境に配慮した物品の購入を推進します。
- 6 . 環境に配慮した製品の使用及び工事に努めます。
- 7 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

※重点項目

作成日： 2018年11月10日

代表取締役 谷 政智

□組織の概要

更新日：2020年11月10日

(1) 名称及び代表者名

株式会社 谷電気

代表取締役 谷 政智

(2) 所在地

本社 兵庫県洲本市千草乙147番地

倉庫 兵庫県洲本市千草乙256-1番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 芝 信行

TEL:0799-22-4697

担当者 鯛 満弘

TEL: 同上

(4) 事業内容

電気工事業、消防施設工事業、土木工事業、管工事業、建築工事業

(5) 事業の規模

売上高 501 百万円

	本社	倉庫			合計
従業員 名	17 名	0 名			17 名
延べ床面積 m ²	142 m ²	509 m ²			651 m ²

(6) 事業年度

11 月 1 日 ~ 10 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 谷電気

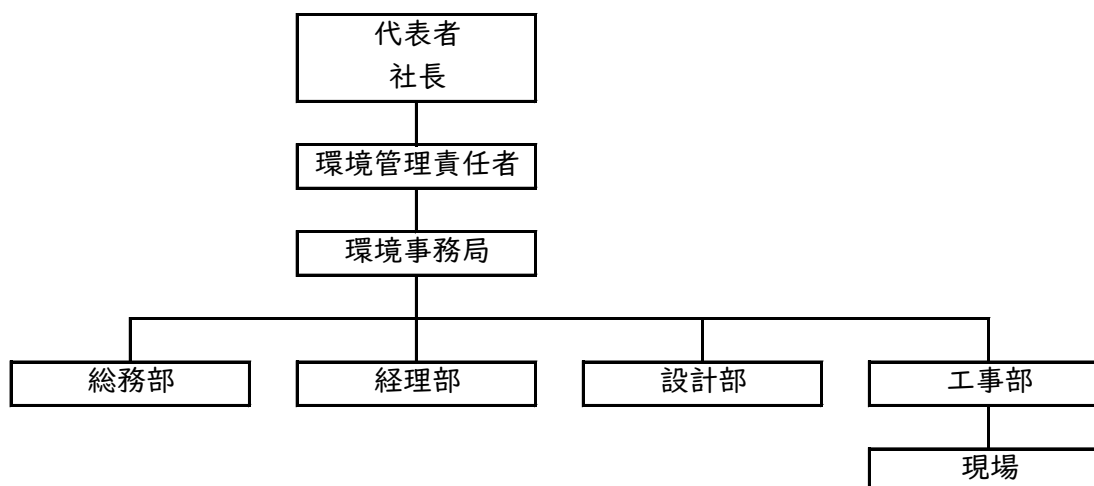
対象事業所： 本社

倉庫

事業活動：

電気工事業、消防施設工事業、土木工事業、管工事業、建築工事業

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長） 谷 政智	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、管理事務局の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門 経理部 総務部 設計部 工事部	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	53,794	74,297	52,596
一般廃棄物排出量	トン	0.217	0.210	0.216
産業廃棄物排出量	トン	34.28	19.15	123.95
総排水量	m ³	61	59	66

※二酸化炭素排出係数 0.434 kg-CO₂/kWh 2022年度関西電力の調整後排出係数を採用。

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

項目 \ 年 度		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
			2022年11月1日～ 2023年10月31日				
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 (電力)売上高原単位削減	kg-CO2	8,460		6,362	○	2019年度以降 原単位目標に移 行	2019年度以降 原単位目標に移 行
	基準年度比	2009年		75%			
	売上高(千円)	395,000		551,886		0.0195	0.0195
	kg-CO2/千円	0.0214	0.0195	0.0115			
	達成率			169%			
基準年度比	2023年	91.0%	53.8%		91.0%	91.0%	
自動車燃料による二酸化炭素削減 (化石燃料)売上高原単位削減	Kg-CO2	57,558		0	○	2021年度以降 原単位目標に移 行	2021年度以降 原単位目標に移 行
	基準年度比	2009年		0%			
	売上高(千円)	395,000		1,921		0.133	0.133
	kg-CO2/千円	0.146	0.133	0.082			
	達成率			161%			
基準年度比	2023年	91.0%	56.5%		91.0%	91.0%	
一般廃棄物の削減	kg	240	216	216	○	216	216
	達成率			100%			
	基準年度比	2010年	90.0%	89.9%		90%	90%
産業廃棄物の削減	t	78.44	70.60	129.70	×	70.60	70.60
	達成率			54%			
	基準年度比	2009年	90.0%	165.3%		90.0%	90.0%
建設副産物のリサイクル率の向上	%	90.86%	99.04%	98.96%	×	99.04%	99.04%
	達成率			99.9%			
水道水の削減	m³	115	102	66	○	101	102
	達成率			155.1%			
	基準年度比	2017年	89.0%	57.4%		88%	89%
環境に配慮した工事の推進 (太陽光発電、エコキュート、 省エネ空調の推進件数)	件数(トータル)	—	10件(トータル)	11 件	○	10件(トータル)	10件(トータル)
	達成率			110%			
環境保全活動の参加	回/年	—	3回/年	3 回	○	3回/年	3回/年
	達成率			100.0%			

※1.灯油は少量の為、目標に設定していない。

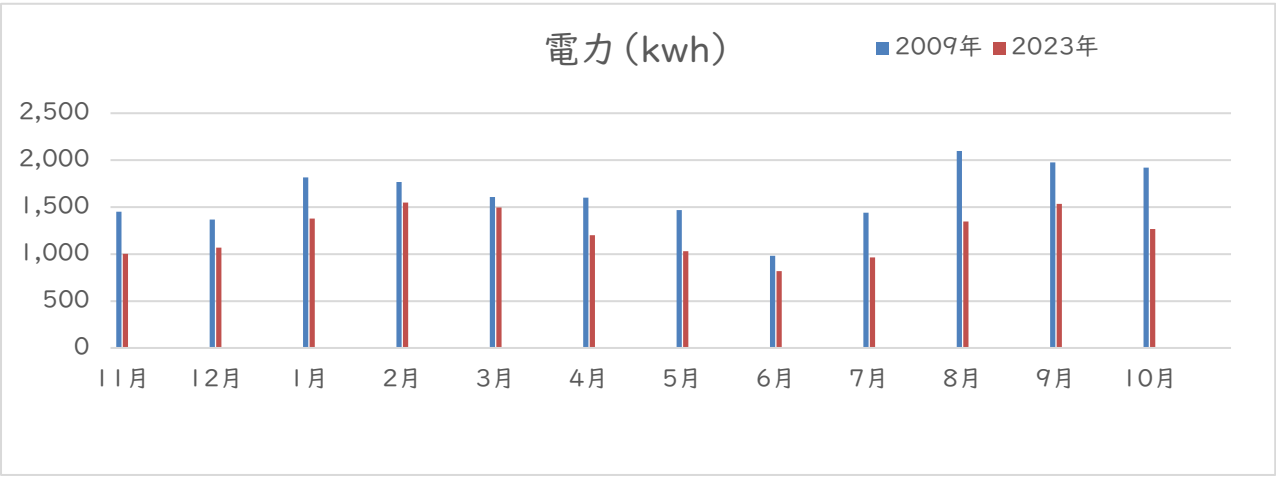
※2.化学物質の使用はありません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

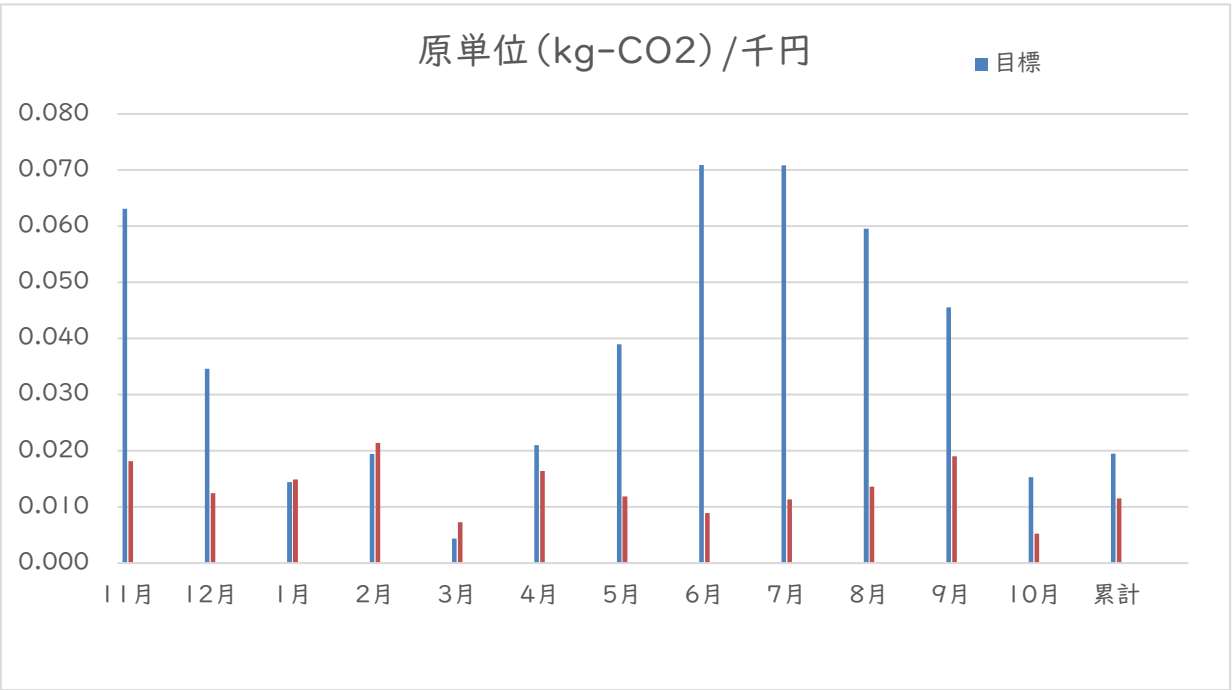
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	活動状況	取組結果とその評価
(電力) 売上高原単位削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年に対して売上のバランスによって結果は左右されているが、売上が順調で、kg-CO2の累計においても基準年度の75.2%と順調であった。 温暖化等の気候変動が大きくなっている為、持続可能な基本的な節電に取り組み、業務内容と作業の適正を考慮し、仕事の分業で全体の業務時間の削減に次年度以降も取組ます。
・各空調機の温度設定の確認。		



電力使用量

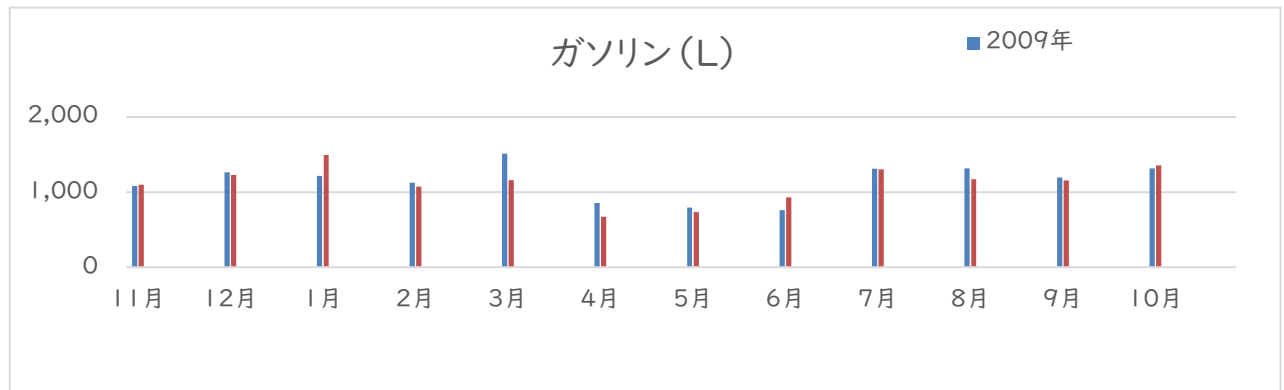
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
2009年	1,452	1,369	1,816	1,767	1,607	1,600	1,468	980	1,440	2,097	1,976	1,921	19,493
2023年	1,004	1,069	1,377	1,548	1,498	1,200	1,031	819	964	1,348	1,534	1,268	14,660



原単位 (売上高に対する。)

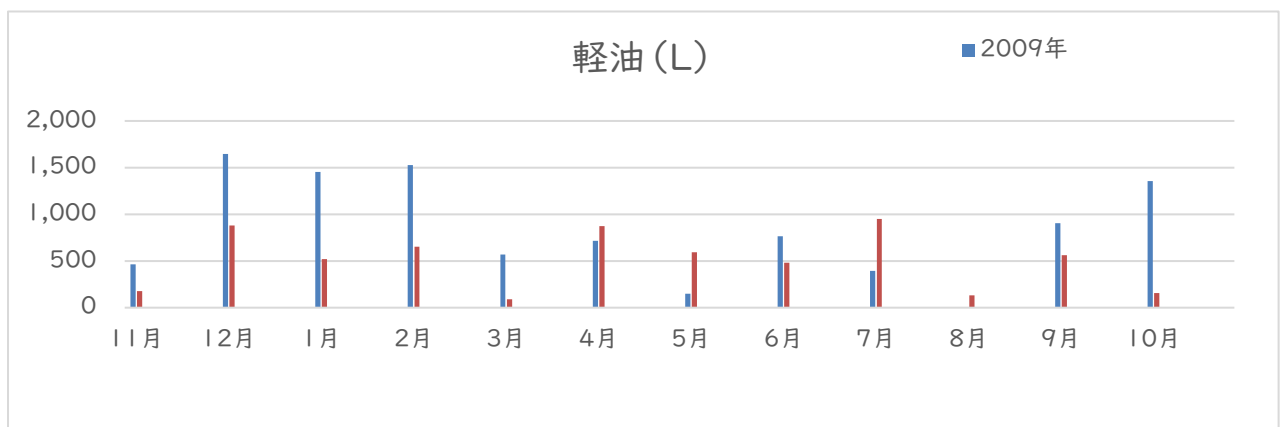
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	0.063	0.035	0.014	0.019	0.004	0.021	0.039	0.071	0.071	0.060	0.046	0.015	0.019
2023年	0.018	0.012	0.015	0.021	0.007	0.016	0.012	0.009	0.011	0.014	0.019	0.005	0.012

自動車燃料による二酸化炭素削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		本年度はガソリンの使用量が基準年の93.3%、軽油が61%と使用量だけで見た場合はガソリンの目標は未達成となる1年で売上に助けられた1年で有った。 年間を通して効率の良い運転を意識し、毎月の売上の動向にも注意して次年度以降も取り組みます。
・相乗り運転を心がける。		



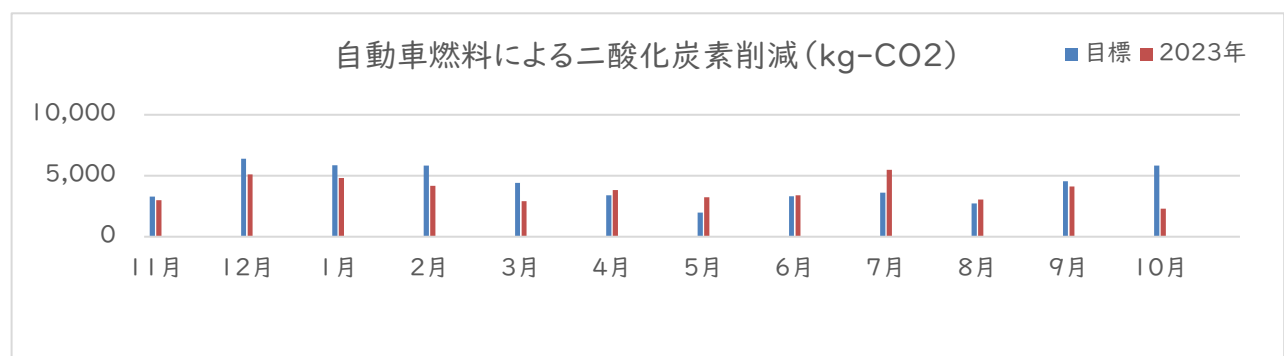
ガソリン使用量

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
2009年	1,081	1,262	1,218	1,123	1,511	855	796	760	1,310	1,317	1,197	1,318	13,747
2023年	1,099	1,228	1,494	1,071	1,160	671	733	930	1,304	1,171	1,155	1,357	13,373



軽油使用量

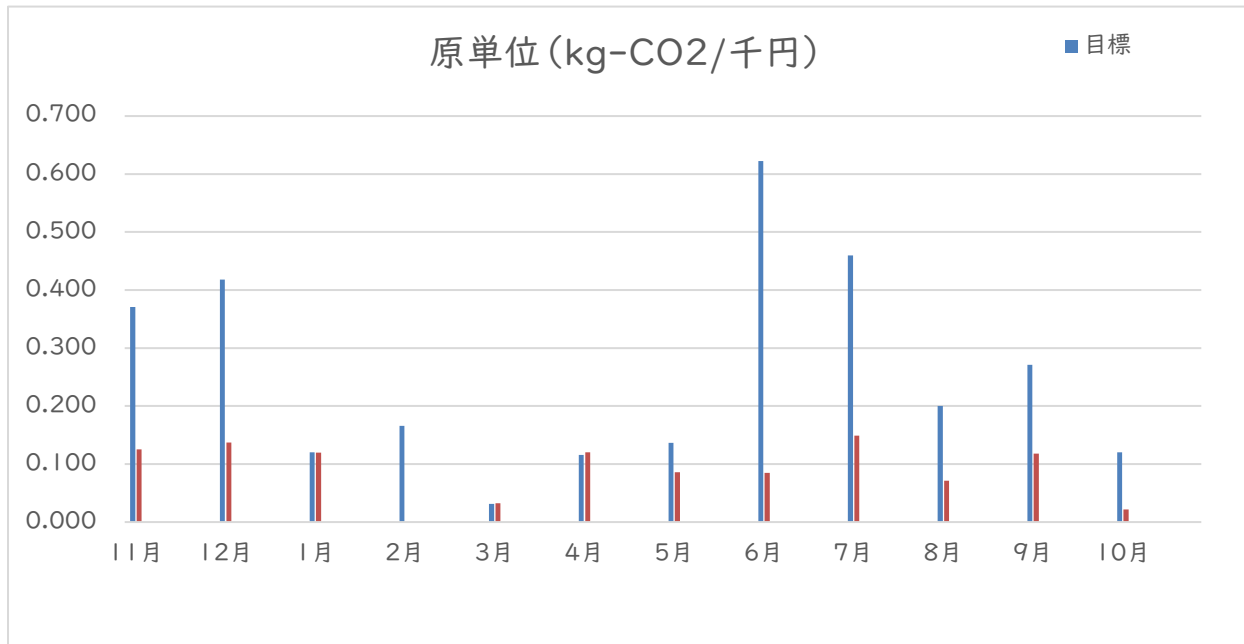
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
2009年	463	1,647	1,455	1,529	569	716	149	765	394	0	905	1,357	9,948
2023年	177	879	520	654	89	875	594	482	950	133	562	157	6,073



自動車燃料による二酸化炭素 (kg-CO2) 発生量

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	3,296	6,387	5,855	5,828	4,427	3,410	1,985	3,325	3,609	2,719	4,549	5,837	51,227
2023年	3,007	5,118	4,808	4,172	2,921	3,814	3,235	3,402	5,475	3,059	4,130	2,291	45,432

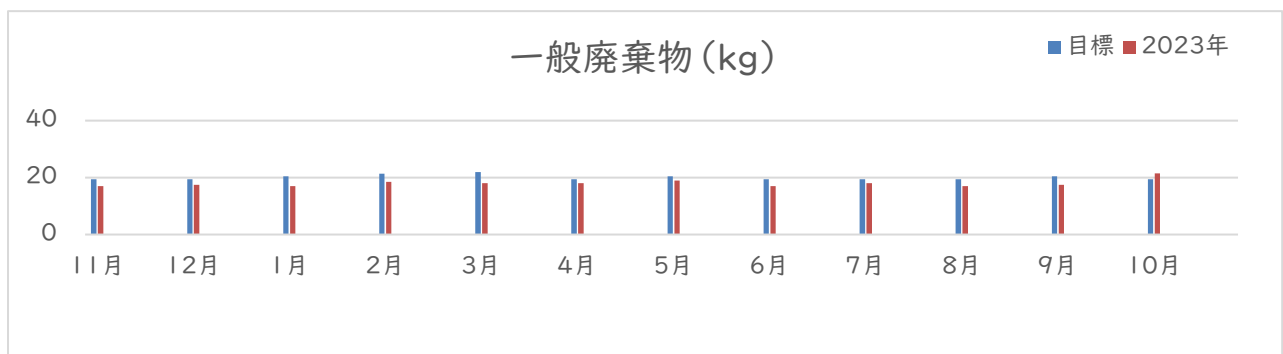
(化石燃料)売上高原単位削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	本年度はガソリンの使用量が基準年の93.3%、軽油が61%と使用量だけで見た場合はガソリンの目標は未達成となる1年で売上に助けられた1年で有った。 年間を通して効率の良い運転を意識し、毎月の売上の動向にも注意して次年度以降も取り組みます。



原単位 (売上高に対する。)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	0.371	0.418	0.120	0.166	0.031	0.116	0.136	0.623	0.460	0.200	0.271	0.120	0.133
2023年	0.125	0.137	0.120	0.000	0.033	0.120	0.086	0.085	0.149	0.071	0.118	0.022	0.082

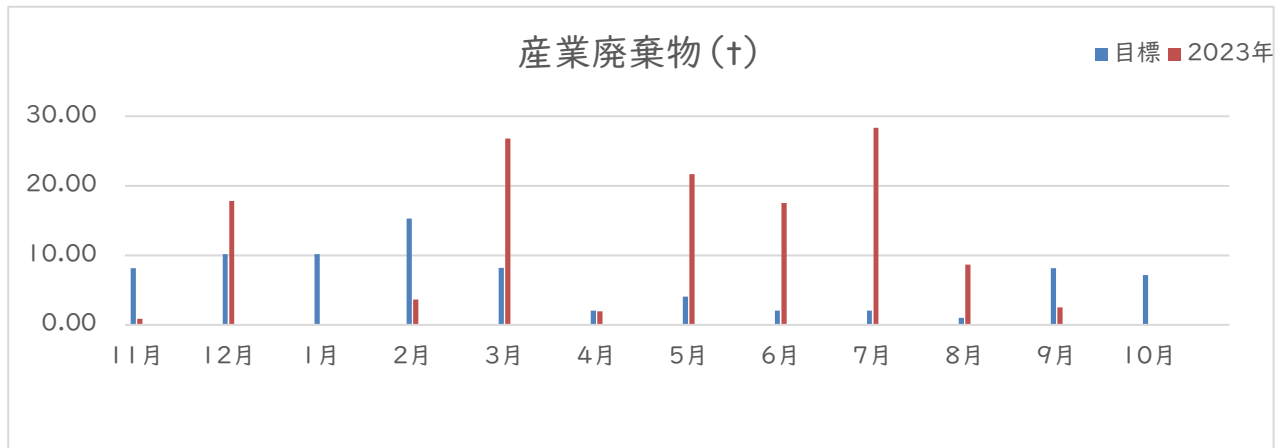
一般廃棄物の削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	順調では有ったが結果はギリギリであった。 不要な資料を作らない、ももらわない様に注意していきます。
・裏紙使用、書類管理のペーパーレスを推進。		



一般廃棄物削減目標

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	19	19	20	21	22	19	20	19	19	19	20	19	240
2023年	17	18	17	19	18	18	19	17	18	17	18	22	216

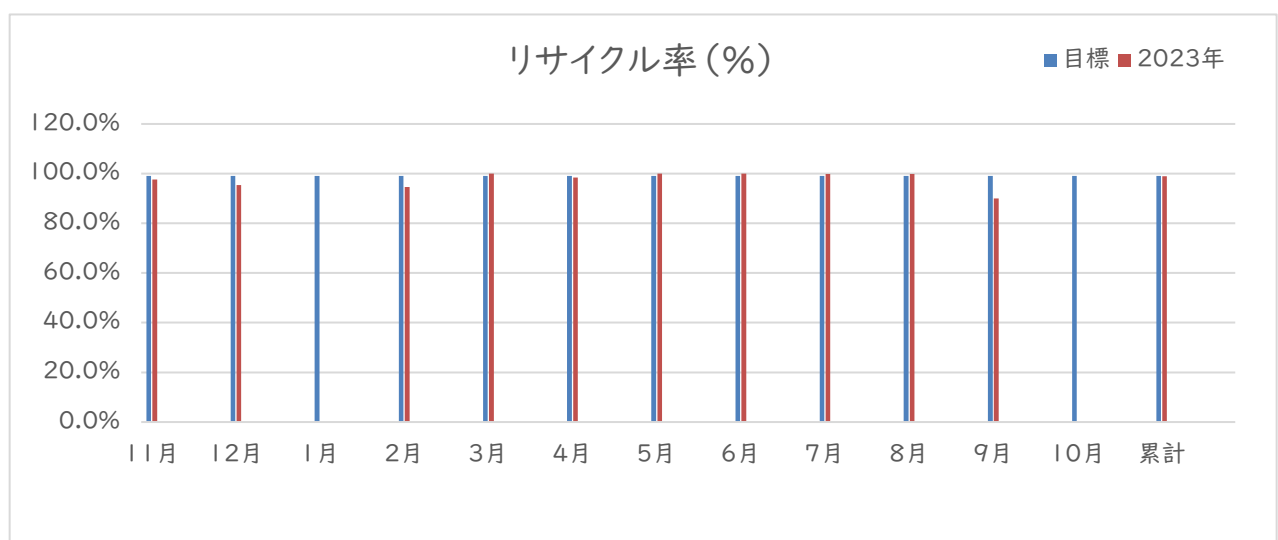
産業廃棄物の削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	産業廃棄物の発生量が多い仕事を受注した為、目標が未達成であった。 発生量は請負工事の内容によるが、次年度以降も余分な廃棄物を出さない発注に努力致します。
・余剰資材の発注に注意する、		



産業廃棄物削減目標

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	8.16	10.18	10.18	15.27	8.18	2.04	4.07	2.03	2.03	1.01	8.15	7.14	78.44
2023年	0.85	17.80	0.00	3.64	26.77	1.94	21.67	17.53	28.32	8.67	2.51	0.00	129.70

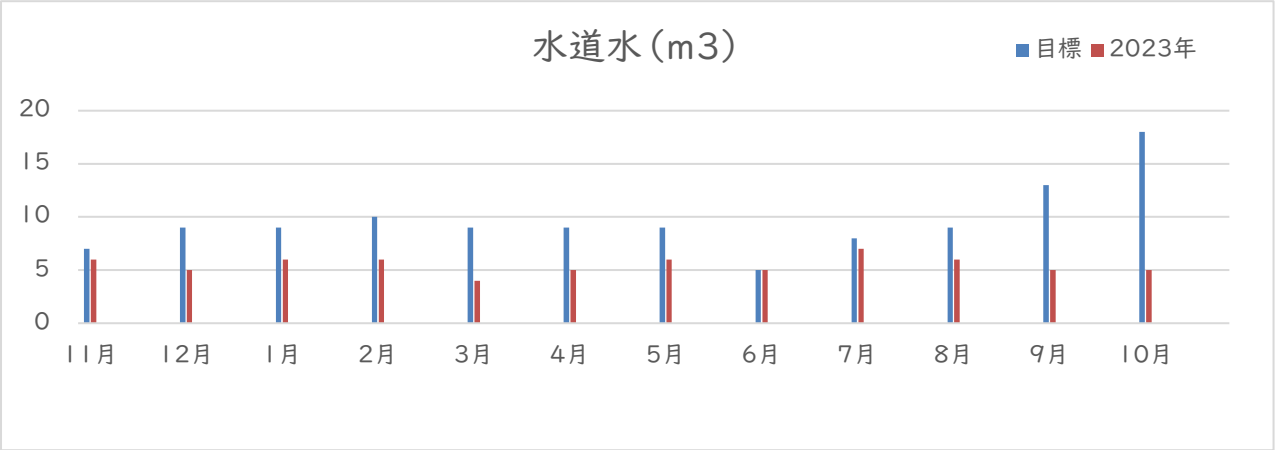
建設副産物のリサイクル率の向上		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	リサイクル出来ない廃棄物が発生する工事を受注した事と、リサイクル率目標が高かった為、目標達成出来なかった。達成率は99.9%と、もう少しであった。 数字目標達成は取り組み次第でも達成出来ない事もあるが、持続可能な分別作業を引き続き実施致します。
・こまめに分別する。		
・廃棄物は透明袋に入れて分別しやすくする。		



建設副産物のリサイクル率の向上

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%	99.0%
2023年	97.6%	95.4%	-	94.6%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%	99.9%	99.9%	90.0%	-	99.0%

水道水の削減		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	1年を通して順調であった。
・蛇口のこまめな開閉と蛇口のフルオープンを避ける。		次年度以降は目標設定値を見直して取り組みたいと思います。



水道水の削減目標

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	累計
目標	7	9	9	10	9	9	9	5	8	9	13	18	115
2023年	6	5	6	6	4	5	6	5	7	6	5	5	66

環境に配慮した工事の推進		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	順調であった。
1.推進商品の省エネ効果の提案書作成・提出		次年度以降は特定の設備こだわらず環境に配慮した工事の推進を目標とします。

環境保全活動の参加		取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	6月の洲本市建設業協同組合主催の島内一斉清掃、7月の全島一斉清掃に参加する事が出来た。
・情報収集し参加機会を増やす。		次年度以降も各取組に注意して参加の機会を逃さないようにして行きます。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	廃棄物処理業者の許可確認、マニフェスト交付・管理・保管、運搬時の表示・書類携行
騒音規制法	対象工事作業開始の8日までに市町村に届出（敷地境界線上で85dB以下）
振動規制法	対象工事作業開始の8日までに市町村に届出（敷地境界線上で75dB以下）
浄化槽法	保守点検、清掃、記録保管、定期水質検査の実施
フロン排出抑制法	登録70ℓ類充填回収業者へ適正な引渡し及び書類保管、対象機器の点検実施（空調機簡易点検記録は廃棄後3年間保存する。）

・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

・関係当局からの違反・指摘もありませんでした。

全体の評価

- ◆ 業種的に受注内容によって削減目標が達成しづらい取り組みが発生しているが、基本的な取り組みのもと電気使用量については省エネ機器の導入が年々進み基準年度に対して削減効果が十分現れている。
- 化石燃料についても基準年度と比較して人員も売り上げも増えているが目標達成出来た事は評価出来る。

見直し・指示

- ◆ 環境経営方針及び実施体制については現状のままで取り組む。
- ◆ 環境経営目標及び計画について、目標値が高い建設副産物のリサイクル率の値を次年度以降見直して新しい目標値にて取り組む事。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

